



ふくやま 市議会だより



No.54

3月定例会 2015年(平成27年)5月1日

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会
〒720-8501 福山市東桜町3番5号
TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●
じょうてん じ
承天寺から
松永湾を望む

3月定例会の概要	2
議案の審議結果	3～4
代表質問	5～9
一般質問	9～10
委員会の活動	11
議員研修会	12

平成27年3月定例会



平成27年第1回定例会（2月24日～3月18日／会期23日間）の概要は次のとおりです。

24日 総務課長が2件の市長専決処分について報告

市長が市政の状況と53議案の提案理由を説明

請願1件を、紹介議員の説明の後、民生福祉委員会に付託

2日～4日 議案や市政全般について6人の議員が代表質問

5日 議案や市政全般について4人の議員が一般質問

5日質問終了後 市長が19件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの当初予算案16件と補正予算案7件の合わせて23件は、予算特別委員会を設置して付託、それ以外の49議案は所管の常任委員会に付託

6日 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

9日～13日 予算特別委員会で議案を審査

18日 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告がありそれぞれ採決し、72議案を原案どおり可決、継続分を含む請願4件のうち1件は不採択、3件は継続審査

教育委員会の教育長の任命について同意

議員提出の議会委員会条例改正案など2件を可決

この定例会で決まったこと（一部をお知らせします）

■平成27年度当初予算

会 計 名	平成27年度当初予算額	平成26年度当初予算額との比較	
		増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	1,679億6,700万円	32億8,800万円	2.0%
特 別 会 計	1,013億5,406万4,000円	77億3,668万3,000円	8.3%
企 業 会 計	602億9,370万5,000円	△40億4,934万6,000円	△6.3%
合 計	3,296億1,476万9,000円	69億7,533万7,000円	2.2%

■平成27年度の主な重点政策

- 連携中枢都市を核とする新たな広域連携
1億6,022万8千円
- 100万本のばらのまちづくりの推進
1億7,922万4千円
- 21世紀を担う人材育成
30億 560万4千円
- 競馬場跡地利活用の推進
1億 180万円
など

■平成26年度補正予算

- プレミアム付商品券発行事業費補助
4億8,550万円
- 一般不妊治療費の助成
940万円
- Uターン就職推進
320万円
- 小中学校校舎天井裏等安全対策
1億4,720万円
など

■条例

- 市立大学大学院教育学研究科の学生で、規則で定めるものに対し修学奨励金を給付するため、寄附金を財源とした修学奨励金基金を設置します。（市立大学大学院修学奨励金基金条例の制定）
- 寄附を受けた日本はきもの博物館及び日本郷土玩具博物館について、松永はきもの資料館として設置、開館します。（松永はきもの資料館条例の制定）

■その他

- 備後圏域の関係市町が協力して、大都市圏への人口流出を防ぎ、圏域のさらなる発展のため連携協約を結びます。（福山市と三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町、笠岡市、井原市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約）

平成27年第1回定例会 議案の審議結果一覧		
全員が賛成した案件		
付託委員会	議	案
総務	行政手続条例の一部改正	
	地域振興基金条例の一部改正	
	市立大学大学院修学奨励金基金条例の制定	
	斎場条例の一部改正	
	競馬事業廃止に係る協力金支給条例の廃止	
	鞆支所・鞆公民館建設工事請負契約締結	
	旧市営競馬場スタンド他解体工事請負契約締結	
	福山市・神辺町合併建設計画の変更	
	包括外部監査契約の締結	
民生福祉	食品衛生法施行条例の一部改正	
	財産の取得	
	財産の処分	
	病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	
文教経済	松永はきもの資料館管理運営基金条例の制定	
	松永はきもの資料館条例の制定	
	公民館条例の一部改正	
建設水道	道路占用料条例の一部改正	
	都市公園条例の一部改正	
	上下水道事業経営審議会条例の制定	
	新たに生じた土地の確認及び字の区域の変更	
	市道路線の廃止	
	上下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	
	異議申立てに係る地方自治法第229条第4項の規定による諮問	
予算特別	平成27年度集落排水事業特別会計予算	
	平成27年度食肉センター特別会計予算	
	平成27年度駐車場事業特別会計予算	
	平成27年度母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	
	平成27年度誠之奨学資金特別会計予算	
	平成27年度財産区特別会計予算	
	平成27年度病院事業会計予算	
	平成26年度都市開発事業特別会計補正予算	
	平成26年度集落排水事業特別会計補正予算	
	平成26年度介護保険特別会計補正予算	
	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算	
	平成26年度駐車場事業特別会計補正予算	
	平成26年度病院事業会計補正予算	
委員会付託省略	農業委員会の選任による委員の推薦	

次ページに続く

賛否が分かれた案件											
付託委員会	議案名	水曜会	公明党	誠勇会	日本共産党	市民連	新民クラブ	新政	無所属	採決	
										1	2
総務	職員定数条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	債権管理条例の制定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	福山市と三原市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	福山市と尾道市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	福山市と府中市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	福山市と世羅町との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	福山市と神石高原町との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	福山市と笠岡市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	福山市と井原市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	一般職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
民生福祉	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	市立保育所条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	子ども・子育て支援法施行条例の制定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	介護保険条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	介護保険料の引き上げを行わないことを求める要望	×	×	×	○	×	×	×	×	不採択	
文教経済	市立幼稚園保育料等徴収条例の全部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
建設水道	手数料条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
予算特別	平成27年度一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度都市開発事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度介護保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度商業施設特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度工業用水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度下水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
委員会付託省略	平成26年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	教育委員会の教育長の任命の同意	○	○	○	×	○	○	○	○	○	同意
	議会委員会条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。

議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

* 3月定例会の代表質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → 録画放送はこちらから

→ 開催年：選択してください ▼ → 平成27年 → 平成27年第1回（3月）定例会

代表質問

備後圏域のリーダーとしての決意は

連携中枢都市福山の首長としての決意は。

市長の政治姿勢を問う



熊谷 寿人

水曜会

答 いかなる状況下でも、このふるさと福山を、子や孫の世代には。

問

人口減少対策や連携中枢都市圏構想など、新たに重点化する施策について、市長の決意は。

誇りを持って引き継いでいかなければならぬと考えている。

また、本市は、備後圏域のリーダーとして、将来にわたって発展し続けることができ、活力と成長力のある都市でなければならない。

平成27年度からは、新たに策定した行政運営方針を踏まえ、心の豊かさが実感でき、活力と魅力ある地域づくりを進めるため、人口減少対策や連携中枢都市圏構想、協働のさらなる深化などを新たに重点政策として取り組む。

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して6人の議員が質問し、活発な議論を開きました。

その概要は、次のとおりです。

*代表質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。

予算編成に対する思い

答 平成27年度の予算編成に当たり、市長の思いは。

これまで進めてきた行財政改革の取り組みにより、人件費や公債費の圧縮を図るとともに、公共施設維持整備基金や合併特例債の新たな活用など創意工夫を凝らす中で財源確保に努め、とりわけ未来を担う人づくりを進める視点から、小中一貫教育の推進など教育費については27億円、18・1%の増と特に意を用いた。

また、投資的経費については、学校施設の耐震化をはじめ、鞆地区公共施設整備や総合体育館の設計、公共施設延命化の維持補修など、4年ぶりに150億円台の予算を確保し、未来志向の「積極型予算」を編成することができた。

連携中枢都市福山の首長としての決意は。

連携中枢都市の中核市の代表として、経済財政諮問会議の制度ワーキング会議など、国の諮問機関等への出席要請があつたことは、これまでの取り組みの過程が国に一定の評価をされているものと受け止めている。

本市が圏域のリーダーとして、各地域の独自性と個性を生かしながら

がら、これまでの取り組みを継続し発展させていくほか、大胆な政策立案を行うなど、「豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたい」としての決意である。

先日、特別職を含めた職員に対し、本市が担っていくべき中枢都市としての責任と役割について、直接思いを伝えたところである。



連携協約締結式

※連携中枢都市：指定都市または中核市で、昼間人口が夜間人口より多く、三大都市圏の区域外に所在する都市をいう。連携中枢都市は、連携市町との役割分担のもと、圏域全体の経済成長のけん引や高次の都市機能の集積・強化などを担う。

本市への功績者に対する 顕彰が大切では

問 市制施行100周年記念事業の一として、例えば、^{*榮えくあん}久庵憲司さまなど本市発展のためにご尽力、ご支援等いただいた方々の功績を顕彰することが大切と思うが、考えは。

答 功績者への顕彰については表彰条例等に基づき、100周年にふさわしい功労者や善行者を選し、その方々のご労苦にしっかりと報いてまいりたいと考えています。

合併建設計画の変更内容は

問 合併建設計画の変更で177億円の活用可能額が示された。積算根拠とする事業は。

答 合併特例債の全体枠は572億円で、合併後のまちづくりのために必要な財源措置として、最終の神辺町との合併時点で旧4町を含む福山市を一体のものとして国が示した標準的な事業費から算定したもの。そのうち4町それぞれの合併協議会で積み上げられた

このたび新たに、総合体育館等整備事業、学校施設整備事業、就学前施設整備事業の3事業を追加する。



榮久庵憲司さんがデザインしたバイク「YA-1」とキッコーマン卓上しょうゆ瓶(ものづくり交流館展示)



る。なお、榮久庵憲司さまについては、市立大学の校章のデザインや鞄のまちづくりに対するご尽力など、本市への功績は多大あります。郷土の誇りである。記念式典での顕彰も含め、その功績にふさわしい顕彰の在り方をさまざまな角度から検討している。

問 上下水道の施設の老朽化が進み、今後は更新などに多くの投資が必要となるが、経営安定化への取り組みは。

答 これまで職員の定員管理や給与の適正化をはじめ、組織統合や、さまざまな業務の包括的民間委託などに取り組み、より効率的効果的な事業運営に努めている。

今後の経営展望については、不安定な景気動向などから水需要が

上下水道事業の経営安定化への取り組みは

問 ①平成27年度予算の特徴は。
②投資的経費の基本的考え方は。

答 ①大変厳しい財政環境下ながら、当初予算額は前年度比2%増の1679億6700万円と、



平成27年度一般会計予算について

問 ①平成27年度予算の特徴は。
②投資的経費の基本的考え方は。

答 ①人口減少社会の到来も見据えながら、連携中枢都市圏構想や市制施行100周年記念事業等に対応したりを進める視点から、小中一貫教育の推進や校舎の耐震化など教育費に意を用い、未来志向の積極型予算を編成することができた。

②都市基盤整備や合併建設計画の着実な実施など158億円と、前年度比38億円の増とした。投資的経費は、都市の活力や産業の活性化等の観点などから不可欠であり財政の健全性に配慮しながら、可能な限り事業量を確保していく。

減少傾向にあり、今後の人口減少等の要因も加わり、収益の伸びが見込めないものと予測している。一方、上下水道施設の老朽化対策にあわせ、耐震化対策を進める必要がある。

今後の経営に当たっては、市民の皆さまの意見を聴き、経営に反映する必要があることから、平成27年度、福山市上下水道事業経営審議会を設置したいと考えている。持続可能な経営基盤を確立する中で、経営の健全化に努める。

※榮久庵憲司：昭和4年生まれ。昭和22年福山誠之館中学校（現広島県立福山誠之館高等学校）卒業。国際的な工業デザイナーとして代表的な作品はキッコーマン卓上しょうゆ瓶、福山市立大学校章など。勲四等旭日小綬章受章。イタリアのコンパッソ・ドーロ賞国際功労賞受賞。平成27年2月死去。

経済対策を問う

問

- ①企業誘致の取り組み方針は。

- ②福山北産業団地2期事業の進捗状況は。

答

①地域経済の活性化、雇用の確保等の観点から、産業施策の重要な柱だが、公的な産業団地はこれまでの取り組みからほぼ完売の状況にある。このため、公有地民有地を問わず事業用地の候補地物件を調査し、情報提供している。今後さらにきめ細やかな情報提供



福山北産業団地(平成21年6月)

に努める。

②平成21年までに基本設計、測量および地質調査等を行い、平成24年には事業予定区域を都市計画区域に編入した。今後の事業推進は景気動向や企業ニーズの把握が重要で、事業を取り巻く環境の変化や社会情勢の変化を慎重に見極めたい」と話す。

誠勇会



佐藤 和也

連携中枢都市圏構想を具体的に

問 連携中枢都市圏構想の具体的な施策は。

産業の分野では、圏域の産業振興の基礎資料となる圏域版の産業連関表の作成や、中小企業者

小中一貫教育における授業での課題と今後の方向を問う

問 知・徳・体のバランスの取れた教育を実現するための取り組みは。

答 日々の授業を、教師が教える授業から、子どもたちが自ら考え学ぶ授業へ転換する必要がある。子どもたちが互いの考え方を認め合ったり、思いやりや感性を育んだりする授業を、全教科で日々実践し、とりわけ、小学5年から中学1年の中期の指導を丁寧に行



小中一貫教育
本市が進める小中一貫教育

たくましく生きる力
ふるさとへの愛着と誇り

発達段階に応じた指導 知 確かな学力 徳 豊かな人間性 体 健体力 小中学校の円滑な接続

1月には校長や教務主任を対象の方向性を協議する研修を実施し授業づくりに焦点化した若手教員育成研修や学校の要請にこれまで以上に柔軟に対応できる指導主事の訪問指導など、見直しを進めている。

への支援策の一つとして、びんご産業支援コーディネーターの活動を開始し、企業と大学との連携強化などに取り組む。

さらに、圏域の沿岸部の自治体間で連携し、瀬戸内の小魚のブランド化など、地方の特色である第1次産業の活性化に向けた取り組みも進める。

また、こども発達支援センターの共同運営に加え、発達障がい児を支える人材育成に取り組むなどを地域社会全体で子どもの育ちを支援する仕組みづくりにも取り組みたいと考えている。

介護保険制度の改正は

問

国は、要支援者へ全国一律の基準で提供してきた介護予防給付のサービスの一部を、段階的に市町の事業に移す改正を示した。

①改正の具体とスケジュールは。②これまでの地域支援事業と平成27年度からの事業の違いは。③事業実施までの過程は。

答

①訪問介護と通所介護のサービスが、市の独自判断で実施できる地域支援事業へ移行するも

ので、本市では、本年4月からこのサービスを提供していく。

②サービス利用の対象者に変わりはないが、新たに生活支援サービスの提供が可能となる。

③本人や家族からの意向を十分くみ取り、適切なサービス利用につなげていく。高齢者の在宅生活で生じる困りごとは、介護保険サービスでは対処できないものがあり本市独自の生活支援事業としてNPOや民間企業などによる高齢者生活支援ネットワークを構築して

対応していく。

①訪問介護と通所介護のサービスが、市の独自判断で実施できる地域支援事業へ移行するも

*産業連関表：ある地域の経済活動について、産業間や産業と消費者などの財・サービスの取引関係を一覧表にまとめ、地域内の経済循環を明らかにしたもの。経済構造の把握や各種施策・事業の経済効果の測定などに活用できる。

日本共産党



土屋 知紀

学校統廃合につながる 小中一貫校はやめること

問

現在の6・3制は子どもとの身体と心の発達に合わせたものであるが、一貫校では小学6年生は最高学年を自覚する機会を奪われる懸念がある。また、

介護保険「新総合事業」と 介護保険料負担軽減策について

問

①新総合事業のうち住民ボランティアで行う「住民主体の支援B」は市内40カ所で実施する目標だが、善意や自発性に基づく行為を介護保険事業として位置付けることに無理がある。

全ての要支援者には、ボランティアではなく介護の専門家による支援を継続すべきである。
②平成27年度からの介護保険料の基準年額を6万6千円から7

答

小中一貫教育の教育効果については、昨年12月の中央教育審

議会の答申によると、特に、中1ギャップの緩和に関する成果や学年、学校の枠を越えた継続的な指導が必要な項目、教職員の意識改革に関する事項に大きな成果が見られるとの総括がされている。

答

万400円と、約6・7%もの引き上げを提案している。

国に対し、保険料軽減の実施を求める。また、市独自の負担軽減策の拡充を強く求める。

市民連合



池上 文夫

介護保険について

問

改正される介護保険事業の内容は。また、介護保険料改定の考え方と、低所得者への保険料対策は。

答

要支援者を対象に全国一律の基準で提供してきた介護予防給

付のうち、訪問介護と通所介護のサービスが、市の独自判断で実施できる地域支援事業へ移行する。事業所に加え、NPOやボランティア等が提供できることとなり本年4月から提供していく。

保険料額は、利用者数や介護給付費を適切に見込む中で算定した。低所得者の保険料は、負担能力に応じたきめ細かな所得段階を設定するなど配慮を行っている。

市民球場の改修計画は

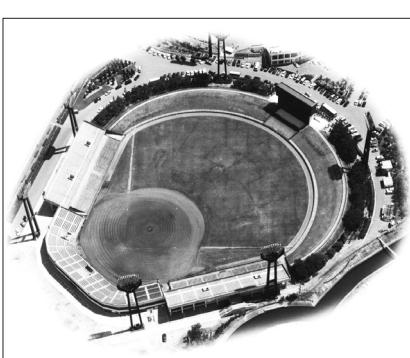
問

「スポーツ振興のあり方」をテーマに、市議会議員の研修会を2月に行つた。

講師の話はこれまで私たち会派が、本市のスポーツ振興策やスポーツ施設の整備などについて、本会議などで提起してきた考え方と全く同じ内容であった。あらためて、老朽化している市民球場の改修計画を示せ。

答

平成26年度はスコアボード表示基盤の改修工事を行っている。



竹ヶ端運動公園野球場
(福山市民球場)

※中央教育審議会：文部科学省に設置されている審議会の一つで、文部科学大臣の諮問に応じて、教育の振興及び生涯学習の推進を中心とした豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成に関する重要事項や、スポーツの振興に関する重要事項等を調査審議し、文部科学大臣や関係行政機関の長に意見を述べることを役割とする。

新政クラブ



須藤
猛

競馬場跡地利活用の 今後の取り組みは

問 競馬場跡地の利活用については3つのゾーンに区分した基本構想が示されている。

平成27年度は総合体育館の基本設計や周辺道路整備の実施設

計などの予算が計上されているが、今後の取り組みは。

答 平成27年度から、総合体育馆や周辺道路などの設計等に着手し、平成31年度の供用開始に向けて計画的な整備に努める。なお、具体的な整備計画やスケジュールは、策定作業を進めている競馬場跡地利活用基本計画でお示しする。



競馬場跡地利活用のレイアウト案

建設計画の総合体育館は市民が利用するスポーツ拠点としての整備はもちろんあるが屋内競技種目のトップチームの試合が行える施設規模・機能とすることが必要である。また、防災の観点での整備も重要であるが、考えは。

答 社会体育施設基本計画で、スポーツ活動の拠点として、大規模大会、トップレベルのスポーツイベントの開催や、見るスポーツ

公共施設の再整備は



高田 健司
水曜会

- 問 ①再整備の取り組みは。
- ②現在活用していない公共施設の状況は。
- ③地域交流施設等の再整備は。

答 ①市民サービスの向上と施設の適正管理の観点から、施設の複合化や転用、長寿命化等に取り組み、平成25年には公共施設サー

利益者のニーズ等を踏まえ、施設内容や規模等のほか、避難施設としての機能や施設の運営方法も含め、検討している。

②売却処分や他の用途への変更などが決定されるまでの間、市の倉庫や地域の集会施設などとして暫んでいる。

この定例会では、議案や市政全般について、4人の議員が一般質問（全員が一問一答方式を選択）を行い、活発な議論を展開しました。その概要は、次のとおりです。

一般質問

*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。

* 3月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → 録画放送はこちらから

→ 開催年：選択してください ▼ → 平成27年 → 平成27年第1回（3月）定例会

問 小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針(案)について

(1)小中一貫教育での中学校区における地域との連携について、望ましい方向は。

(2)基本方針(案)策定に、文科省の手引をどう参考にしたのか。

(3)学校統合には、保護者や地域住民も参加する検討組織等、き



岡崎
正淳
無所属

問 この構想は、周辺自治体や市内でもコンパクト化等が行われ、公共施設の統廃合になりかねない。周辺自治体や市内周辺部の過疎化が進むことや周辺自治体の地方交付税が削減され中枢都市福山に集中することが



高木
武志
日本共産党

連携中枢都市圏構想を拙速に進めないこと

懸念される。住民生活に大きな変化をもたらす連携協約の締結を拙速に行わないことを求める。

答 ①学校、家庭、地域との連携を今後さらに強め、市民の皆さんと一緒に一丸となって地域の子どもたちを育てる小中一貫教育をめざす。
②個別具体を検討する際に、学校統合の適否や小規模校を存置する場合の充実策等を検討する際の基本的な方向性や考慮すべき要素、留意点等をまとめた手引を参考とする。
③保護者や地域住民の皆さんに丁寧に説明し、しっかりとご意見をききながら十分連携を取りたい。

答 構想の推進に当たり、びんご圏域活性化戦略会議等幅広い分野で意見を伺いながらビジョンの策定などに取り組んできた。ビジョンは圏域の一体的な発展をめざしたもので、本市は連携中枢都市として圏域をけん引していく責任と役割がある。とりわけ経済成長等に係る施策は本市を中心となつて取り組む必要があり、国から必要な財源が措置されるもの。

め細やかなプロセスが必要では。

6月定例会の開催予定

6／15 (月)	本会議（市長提案説明など）
18 (木)	議会運営委員会
22 (月)	本会議（一般質問）
23 (火)	本会議（一般質問）
24 (水)	本会議（一般質問）
25 (木)	本会議（一般質問）
26 (金)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)
30 (火)	議会運営委員会 本会議（委員長報告など）

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。
(ただし、6月30日の本会議は午後1時からの予定。)

○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

☎084-928-1136

答 通級指導が必要と判断されいるのに待機している児童がいると聞く。また、年度途中で通級指導が必要と判断された児童に対しどのように対応しているのか。



藤田
仁志
無所属

通級指導が必要とされた児童への対応は

た全ての児童生徒の受け入れができている。また、年度途中でも、必要と判断された場合は指導が受けられるようにしている。



※通級指導：障がいがある児童生徒のうち、通常の学級に在籍している障がいが比較的軽度な児童生徒に対して、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいに応じた特別の指導を「通級指導教室」で行う教育形態。

委員会の活動(1月～3月)

1月から3月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

◆常任委員会

開催日	調査・審査項目	開催日	調査・審査項目
総務	2/16 • 特定個人情報保護評価書（案）に係るパブリックコメントの結果 • 競馬事業関係者に係る総合相談窓口の終了 • 市制施行100周年記念事業基本計画 • 新たな広域連携モデル構築事業（連携中枢都市）など	文教経済	2/16 • TBS日曜劇場「流星ワゴン」を活用した観光宣伝 • 水産振興ビジョン（案）の策定 • 小中一貫教育の全面実施 など
	3/4 • 公民館条例の一部改正 など		3/4 • 教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定 など
	3/6 • 都市ブランド戦略 • 付託された議案（20件）の審査 など	3/6	• 赤坂小学校におけるコンクリート片等落下に伴う市立小・中学校及び福山中・高等学校の対応 • 付託された議案（6件）の審査 など
民生福祉	2/16 • 生活困窮者自立支援法への対応 • 第4期障がい福祉計画（案） • 看護職員実態把握のためのアンケート調査の結果 • 定時定点方式による犬・猫引き取り業務の廃止 など	建設水道	2/16 • 建設工事及び業務の執行状況 • 土木常設員名簿（案） • 水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の財政状況 • 箕島浄水場監視制御設備取替工事請負契約締結 など
	3/4 • 病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正		3/4 • 上下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 など
	3/6 • 教育・保育施設及び地域型保育事業 • 付託された議案（10件）の審査 など	3/6	• 通学路の安全対策 • 付託された議案（13件）の審査

◆特別委員会

開催日	調査項目
行財政改革	2/18 • 公共施設（地域交流施設等）の再整備
競馬場跡地利活用検討	3/13 • 競馬場跡地利活用基本計画（案）

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。

なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。



これらの書類は、議会事務局に申請すれば、誰でもすぐ閲覧（無料）でき、コピー（有料）もできます。
詳しくは、議会事務局庶務課にお問い合わせください。

2014年度（平成26年度）に各会派に交付された政務活動費について、収支報告書などの関係書類を6月1日（月）から公開します。

政務活動費が市政の調査研究活動等（研修、広報など）にどのように使われたかを、支出書や領収書、また市外視察などの報告書等で見ることができます。

政務活動費の収支報告書を公開

議員研修会

「スポーツ振興のあり方」

講師

JFE西日本硬式野球部

監督 村上 文敏さん



昨今、スポーツは幅広い意味を持ち、経済的あるいは社会的効果を街や地域にもたらしています。本市の競技スポーツや生涯スポーツの振興に向けて、大変有意義なディスカッションとなりました。

今回開催した議員研修会は、村上監督と議員の代表の2人による「対談形式」で進め、後に会場を交えディスカッションを行いました。

指導する側と指導を受ける側の認知度や価値観などの「感性の差」を言われ、「これをつかまつして指導も成長も成り立たない」と明言される。

スポーツをする上で環境面に

ついては、「ソフトがハードを生み、ハードがソフトを育てる」と言われ、選手育成のための指導者育成の重要性と、併せて施設や設備面での改善を訴えられた。

まず、スポーツの指導について「技術的な指導だけでは育たない。監督自身の指導において一番大切なことは?」との問い合わせに、村上監督は「選手と自分の距離感をつかむこと」と、間髪入らずに答えられた。

この質問に対する回答は、

- ・昭和60年、駒澤大学を経てNK K（現JFE西日本）へ入社。
- ・平成7年、第66回都市対抗野球大会準優勝。主将、遊撃手として活躍。現役選手引退後監督に就任。
- ・以来、チームを4度の都市対抗野球大会と、4度の社会人野球日本選手権大会出場に導く。
- ・平成16年、社会人野球日本選手権大会初優勝。同年、勇退。
- ・平成22年、監督復帰。

「ワシらは朋輩じゃあ」
「流星ワゴン」の名台詞。
「こんな言葉は使わんね」と仲間内で話題になりました。

この台詞を余りにもしつこく繰り返すので、もう一つの台詞、「不細工じやのお」

といい放つと、その場は大笑いと相成りました。

ドラマは3月に終わりましたが、我々が創るドラマはこれからです。

迎えた新年度は、市制施行100周年の序章「プレイメントの年」となり、市民提案型イベント「夢・未来100ものがたり」として、市民全員参加をめざします。みんなで盛り上がって我々の手でドラマを創りましょう。

(大塚忠司)

編集後記

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷／(株)小山オフセット印刷所 ☎ 084-922-0280

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

